

第2回帯広市総合計画策定審議会における主なご意見(平成30年7月4日開催)

テーマ	主なご意見
自然環境・地球環境	<p>○バイオマス事業については、ビジネスとして成り立つことが重要ではないか。</p> <p>○ゴミの分別や廃油の回収など、市民の小さな取り組みも大切にすべきではないか。</p> <p>○町内会の加入率が低下し、ゴミステーションの管理やゴミの分別が難しくなっている中、市民参加の意識を高めるには、活動の見える化が有効である。</p> <p>○廃棄物に関する目標値への到達度と市民実感度との乖離が見られるため、より実態に即した目標値の設定が必要ではないか。</p>
公園・緑地	<p>○駐車場の整備など、市民ニーズを踏まえた公園整備の検討をすすめていくべき。</p> <p>○市民主体の公園維持・管理については、人口減少などを要因とする担い手不足を踏まえた上で、持続可能な手法の検討をすすめていくべき。</p> <p>○これからの帯広の森の整備や利活用などの展望について、市民と行政が改めて検討を行うべき。</p>
公営住宅	<p>○公営住宅の整備や管理について、民間委託も含め検討をすすめていくべき。</p>
上下水道	<p>○水道施設等の維持管理における民間委託などの活用においては、安全で安定的な水道水の提供を確保する視点が重要である。</p> <p>○地域の実情に対応した雨水整備をすすめるべき。</p>
交通体系	<p>○今後、重要性が増してくると考えられる地域内交通について、しっかりと問題意識を持って取り組んでいくべき。</p> <p>○高齢者や観光客など誰もが安全・快適に移動できるようバスの利便性向上をはかっていくべき。</p> <p>○小学生などの幼少期から、バス利用方法の教育など、地域内交通への理解を深める取り組みをすすめるべき。</p>